

きりばたけ

通信

82号

令和8年8月号（年4回）

札幌司法書士会 会長 下村尚也

編集担当責任者 番井菊世

<https://sapporo-shiho.or.jp/>

〒060-0051

札幌市中央区南1条東1丁目3番地

パークイースト札幌2階

電話 011-281-3505

FAX 011-261-0115



A I は私たちの生活のすぐそばに

デジタル技術の革新が加速し続けておりますが、この1年間で目を見張る変化を感じるのがAI技術の進化ではないでしょうか。目にする広告や、生活における決済手段などの幅広い場面でAIが関与するようになりました。また、企業だけではなく、多くの人たちが個人的にスマートフォンやPCでAIを使うようになってきました。私たちの普通の生活の中でAIはどのように役立ち、どのような点に注意しなければならないのでしょうか。



最近はA I が賢くて本当に便利だよ。僕、毎日つかっているよ。

A I のアプリをつかっていなくても、今はスマホやパソコンの検索機能で、A I も答えてくれるから、使用している実感が増えたよね。今日はA I の利用についての注意点をおさえてみようか。



司法書士 安東



そうそう、それは大きいよね！なんか信頼感がある！

でも、A I 使用上の3大注意のひとつ「① A I は正しいとは限らない」は絶対に意識しないとダメだよ。かなり賢いとはいえ、正確性を求める情報は必ずその根拠を確認するようにしないとならないよ。



本当そうだね～司法書士の仕事などの専門的なものはとくにそうなんでしょう？

実はそうなんだよ。効率化などにはとても役にたつけど、専門的な知識や書類等のアウトプットはまだまだ不正確なものが多いよ。存在しない法律を作っちゃったという事例もある。進化してきているとはいえ、A I は責任をとってくれないので、鵜呑みにしないようにして付き合う必要があるよ。



そもそもこれまでの普通の調べものをするネット検索と、A I の検索は何がちがうの？

これまでの検索は、広告を出したり企業の努力で検索順位を上げたりできたので、押しの強い情報から自分で選ぶ必要があったけど、A I はその傾向も踏まえてまとめたり、客観的な情報を網羅的に教えてくれたりすることができるよね。





ほかに気をつけるポイントは？

3大注意のふたつ目「② 入力する情報の注意」だよ。AIは知ってる通り、情報を学習してどんどん賢くなるから、個人情報や機密情報を入力してしまうと、それを学習されたり、どこかで利用される恐れがあるんだ。



それは怖いね！仕事でつかうには気をつけないとね。

AIのアプリごとに「学習しない設定」にしたり、オフラインで起動可能なAIを利用したりと工夫する必要があるよ。AIも個人情報には慎重になっているけれど、完璧じゃないし、これもAIは責任をとってくれないからね。



なるほど・・・「誰にも言わないでね」って大事な秘密を話して、それをうっかりばらされてしまうようなものだね。

みつつ目は「③ 著作権や肖像権に注意」だよ。



あ、生成AIの利用だね！

そのとおり。色々なデータを作ってくれる生成AIは楽しいし、便利。けれど、誰かの作品や他人の写真などを利用して、著作権や肖像権を侵害するような画像や動画、文書などを作って公開するのはダメだよ。



それもやっぱりAIは責任をとってくれないものね。

前回のきりばたけ通信のイラストも生成AIに作ってもらったんだよ。わかりやすい資料を作るにはとても優れているから、注意点に気をつけながら活用していきたいよ。



複雑化する社会で、コミュニケーションを円滑にする役割は期待できるよね。

きりちゃんはどうなことにAIつかっているの？



役所からくる書類の意味がよくわからないときなどに、写真を撮って「小学生にもわかるように解説して」というとわかりやすく説明してくれるよ。

最終的には役所に確認するとしても、とっかかりとしてかなり助かるよね。何度も同じことをきいてもいいし、やりとりの記録も残るしね。



文字だと頭に入ってこないことは音声解説してもらったりもできるし、本当に便利だよ。

AI活用の世界が当たり前になりつつあるよね。AIを活用した社会問題の解決のヒントも出てきているよ。恐れずにつかっていきたいね。



「きりばたけ」のバックナンバーはここで読めます

